

一般社団法人 日本専門医機構  
第2回外部評価委員会 議事録

開催日時 2020年5月26日(火) 13時30分～15時  
開催場所 東京国際フォーラム D301

出席者 委員長 岩本 裕 (WEB)  
委員 会田 薫子 (WEB)、中島 正治 (WEB)、元村 有希子 (WEB)、山口 徹  
理事長 寺本 民生  
事務局長 堀部 真人

[敬称略]

## 議事次第

### I. 理事長挨拶

理事長が外部評価委員会へ諮問事項を提示し、特に答申願いたい2項目とそれ以外は外部評価委員会で項目を選択し、答申いただきたい旨を伝えた。

### II. 諮問事項(資料4)

諮問項目9項目うち4項目+その他項目について外部評価委員会が答申した。

#### 1. 今後の理事改選について

- ・理事が総入れ替えになることで、協議事項が繰り返される事例があり、組織の継続性が必要なため、半数改選が妥当ではないか(委員も含めて)

答申) 規約に抵触しないのであれば、一定程度理事を残して改選することを推奨した。

改選数と改選の基準など、理事会等で協議し改選に関するルール作りが必要ではないか。

#### 2. 新理事候補への内示について

- ・前改選時に新理事選任の空白期間ができ機構の運営に支障があったため、総会前内示の必要性について  
答申) 選考委員会の決定をもって仮召集をかけ、社員総会と理事会を同日に開催し、社員総会の決定後理事会へ参加いただく等、空白期間ができないようなスピーディーな対応を提案した。

#### 3. 財政改善に関する提言

答申) 財務の健全化をより一層進めて基盤づくりを目指すことが適当である。

公的資金を得られるのがよいが、専門医のための制度であるので各社員が分担するのが当たり前ではないか。専門医機構の事業の中身がよいか検討する必要はあるが、社員が応分の負担をしていくべきである。また、財務の透明性が必要である。

#### 4. 事務局員待遇の改善について提言

- ・事務局員の待遇が公務員の標準以下であることについて

答申) 安定的に働いてもらうために保証をしていくべきではないかと思われるので、こちらを含めて社員に負担増を求めるべきではないか。これは機構の発展のためにも重要である。

#### 5. その他(協議の中で新たに追加されたもの)

- ・専門医制度の説明、広報について

答申) 専門医制度は国民の理解が進んでいるとはいえない。国民や患者へのメリットが見えづらく、機構自体が広報の専門家の力を借りるなどをして国民に伝える努力をするべきではないか。医師が職業倫理をよく認識し専門性に磨きをかけ、切磋琢磨するのは患者さんのためなので、わかりやすく伝える創意工夫をすべきである。専門医資格の広告ができないことに関しては、理事会、理事長が厚生労働省と折衝してほしい。

- ・外部有識者について

医師以外で医療業界に明るく発言ができる方を紹介いただきたい依頼があった。

専門医研修を現場でよく見ている医師以外の医療従事者(看護師、技師など)からも外部有識者として参加してもらうのがよいという意見があった。

### III. 第1回外部評価委員会指摘事項の対応報告(資料1～3)

外部評価委員会議事録の開示、組織図の開示準備、外部評価委員会規定改訂の対応について資料にて示された。